

## 第4回街づくり検討会を行いました。

平成31年1月29日（火）に第4回街づくり検討会を開催し、該当地区内に土地または建物の権利をお持ちの方20名（出席者27名）にご参加いただきました。今回は長年、自由が丘の「まち運営会議」の座長を務められている早稲田大学の卯月盛夫教授に専門家としてご参加いただき、『自由が丘のまちにふさわしい都市更新を考える～道路と建物に着目して～』をテーマにご講演をいただきました。

### 『自由が丘のまちにふさわしい都市更新を考える』～道路と建物に着目して～

下記の1～6の内容について、卯月教授のお考えをご講演いただきました。

#### 説明の内容

1. 道路と都市計画道路の基礎知識
2. 都市計画道路の見直し
3. 前面道路の魅力と問題点
4. 自由が丘の魅力と問題点
5. 参考事例
6. 補127号線の整備可能性



<第4回街づくり検討会の様子>

### 自由が丘の魅力と問題点

#### 自由が丘のまちの魅力は、「ヒューマンスケール」

- ① 徒歩で買い物や散策ができる大きさ
- ② 小径が多いので、車にじゃまされない
- ③ 間口の小さい路面店舗が多い
- ④ 特徴のある個店（老舗と新規店）が多い
- ⑤ 中低層の建物が多い

今後も守っていくべきです！

#### ⇒しかし、時の経過によって問題点も出てきています！

- ① 歩行者の安全が確保できない
- ② 休憩できるベンチが少ない
- ③ リラックスできる緑が少ない
- ④ 個別建て替えによって、歩道幅員もデコボコ
- ⑤ さらに、建物高さもデコボコ etc.

『ヒューマンスケール』を守るためにまち全体の計画が必要です！

## 今後の検討会の方向性について

今後の検討会の方向性について、卯月教授よりご提案いただきました。

- ◆ 今後の検討会では、まず本地区の**将来の車と人間の動き（交通計画）**とそのため**道路のイメージ（幅員）**を考えましょう！
- ◆ また、地区の**建物の高さや形態（景観計画）**もいっしょにシミュレーションしましょう！
- ◆ その際もうひとつ忘れてはいけないのは、やはり**駅前広場を囲む建物のイメージ**です。建物の高さはもちろん、各建物の外壁のデザイン（色彩や窓の構成等）は街並みを形成するので重要です。
- ◆ 特に東横線のプラットフォームから見える駅前広場の全体空間は、自由が丘のイメージ形成にとって大変重要で、100年計画です。この景観をもっと魅力的なデザインにするために、模型を使いながらおおいに議論しましょう！

## 検討会への入会をお待ちしています。

現在**46名**の方にご入会いただいております。

引き続きより多くの権利者の皆様にご賛同、ご参加いただき、権利者の皆様で自由が丘の顔にふさわしい西及び北地区の街づくり検討を進めたいと考えています。



## 次回検討会について

- 日時：2月27日（水）16時～18時
- 場所：野村證券自由が丘支店 地下セミナーホール



次回も引き続き、早稲田大学の卯月教授に専門家として、ご参加いただく予定です。**現在の自由が丘の交通の課題と将来の交通計画**について、卯月教授の助言をいただきながら、皆さんで検討しましょう！

詳細については、同封の『第5回検討会のご案内』をご確認下さい。皆様のご参加お待ちしております。

～自由が丘駅前西及び北地区街づくり検討会に関する問い合わせは下記にお願いいたします～



【問合せ先】自由が丘駅前西及び北地区街づくり検討会事務局  
目黒区 街づくり推進部 地区整備課  
担 当：石井・藤倉 電話：03-5722-9430